

鳥取大学と連携(5)

津波対策共同研究

広報だいせん12月号でお知らせしましたが、大山町では鳥取大学大学院工学研究科 松原雄平教授、黒岩正光准教授の協力で「津波対策共同研究」を実施しています。

前回の広報では、海拔測量を実施し津波ハザードマップに反映させたことや、津波対策講演会の様子を報告しました。

今回は、昨年末から年始にかけて実施した「防災意識アンケート」の結果を報告します。

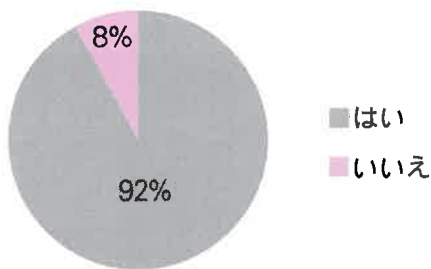
このアンケートは、地域住民の今後の防災意識の向上、各種活動の基礎資料とすることを目的に行いました。国道9号線から概ね海側に位置する39集落、1,430世帯を対象に行い、486世帯の回答をいただきました。アンケート回収率は34%でした。

主なアンケート設問の結果は次のとおりです。



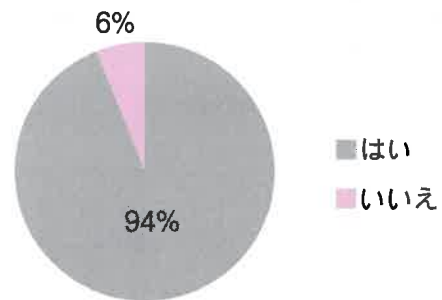
防災意識アンケート結果から

Q 東日本大震災発生後、津波を脅威に感じましたか？



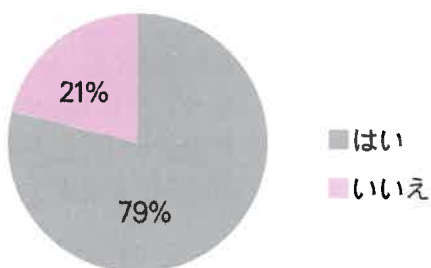
①

Q 今後沿岸域における防災についての研究をしていくべきだと思いますか？



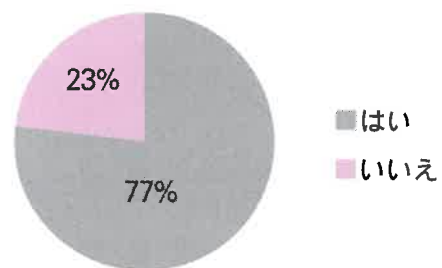
②

Q 防災を普段の生活の中で意識したことがありますか？



③

Q 自宅、最寄りの避難場所の標高を知っていますか？



④